

令和3年度 匝瑳市地域包括支援センター事業実施状況報告

1 総合相談支援

高齢者の様々な相談に応じ、解決に向けて支援した。

(1) 相談実績

○相談形態別（延件数、件）

電話	754
来所	298
訪問	438
その他	57
合計	1547

○相談内容（重複あり）（件）

介護保険関係	580
福祉サービス	100
介護（在宅介護）	83
所得・家庭生活	83
施設入所	106
医療相談	246
苦情相談	6
権利擁護	186
実態把握	256
介護用品	13
支援方針	162
生活全般	138
認知症	236
ケアマネジャー支援	81
その他	57
合計	2333

○相談者（延人数）（人）

本人	556
家族	353
行政機関	94
民生委員	20
医療機関	79
サービス事業者	254
専門機関	68
その他	123
合計	1547

(2) 実態把握訪問

市から依頼があった75歳以上の独居及び80歳以上の高齢者世帯について、152件実施した。（上記表中の256件に含む）

(3) 在宅介護支援センターとの連絡会の開催

- ① 実態把握訪問実施状況の情報共有
- ② ①で今後が心配される高齢者の対応方針の検討

(4) 民生委員児童委員との連携

民生委員児童委員定例理事会に出席し、地域包括支援センター事業についての情報提供等を行った。

2 権利擁護

- (1) 個別相談支援（186件、再掲）
高齢者虐待、成年後見制度及び金銭・書類管理に関する相談支援
- (2) 成年後見制度関連会議への参加と情報交換

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- (1) ケアマネジメント支援実績

○相談者（延人数）（人）

介護支援専門員	47
サービス事業者	0
主治医	1
民生委員	0
家族	9
利用者（本人）	5
関係機関	5
その他	3
合計	70

○相談内容

ケアマネジメント	11
サービス担当者会議への同席依頼	3
社会資源	1
主治医との連携	2
虐待の相談	10
制度説明・確認	2
同行訪問	5
困難ケース	31
家族支援	13
その他	3
合計	81

- (2) ひとり体制ケアマネジャー相談会の開催 3回 延25人参加

4 認知症支援

- (1) 認知症の相談機関としての相談支援
 - ① 個別相談 236件（再掲）
 - ② 認知症の方の家族相談会〔毎月第3金曜日〕6回 延21人参加（令和3年10月から再開）

(2) 認知症の理解促進のための普及啓発

① 認知症サポーター及び認知症ジュニアサポーター養成講座の開催

ア 認知症サポーター養成講座 2回 25人に実施

イ 認知症ジュニアサポーター養成講座

631人(小学校 6回 264人 中学校 4回 367人)に実施

ウ 認知症サポーターステップアップ講座 1回 13人に実施

② 広報そうさ等における周知啓発

世界アルツハイマー月間である9月(9月号)に認知症支援の取組等の特集を掲載した。(別紙参照)

(3) 早期発見・早期対応等

① 認知症セルフチェックサイトの運用

アクセス数 2,392件

② 認知症初期集中支援チーム員会議

認知症の方の支援方針について、医師を中心としたチーム員で検討

1回 1ケース

(4) 認知症の方を支えるネットワークづくり

① 認知症キャラバンメイト連絡会の開催(1回)

認知症サポーター養成講座等の実施について意見交換等をおこなった。

※ キャラバンメイトとは、所定の研修を修了し、認知症サポーター養成講座において、講師を務める役割を担っている方

② 認知症コーディネーター連絡会の開催(5回)

今後の認知症施策についての意見交換等をおこなった。

※ 認知症コーディネーターとは、所定の研修を修了し、地域で認知症の方やその家族の困りごとをキャッチして相談機関等に繋ぐ役割の他、市と一緒に認知症の方の支援体制を構築していく役割を担っている方

③ 認知症支援に係る地域ケア推進会議（1回）

日ごろ認知症支援に携わる方たちと「認知症の本人の気持ちや家族の気持ち」を支援方針に組み入れていくことの大切さ等について、グループワーク等をおして共通認識されるよう取り組んだ。（27人参加）

5 在宅医療・介護連携推進事業

（1） 在宅医療・介護連携のための研修会の開催

市民講座「わが家の音がきこえる」を開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で2度（6月、令和4年2月）延期し、令和4年度実施とした。

（2） 市民に対する普及啓発

ACPについて、広報そうさ（11月号）及びホームページにて周知

※ACPとは、自分自身の将来の医療やケアについて、あらかじめ考えておくこと、また家族等と話し合っておくこと

6 地域ケア会議

共通する課題に対し、関係機関等で支援方針の検討を行った。

(件)

支援者が困難を感じているケース	20
自立支援のための地域ケア会議	12
合計	32

7 一般介護予防事業

（1） 介護予防普及啓発

住民主体による介護予防活動として『いきいき百歳体操』の立ち上げ支援

①体操実施団体、人数

42団体 690人

②『いきいき百歳体操』の継続実施のための支援

ア 栄養や口腔機能向上運動を付加できるよう専門職等の派遣

イ 休止している体操実施団体のリーダーに講習会

コロナ禍で体操を中断している団体のリーダー等を対象に、再開した団体との情報交換や新たな体操（コグニサイズ）の紹介をおこなった。

(2) 『認知症・フレイル予防教室』の開催

認知症とフレイル予防について講話と運動教室の実施

2回開催 参加者数 延70人

(3) 介護予防運動DVDの製作及び配布

百歳体操実施団体及び希望する市民に配布 配布枚数 1195枚